

## 改訂版 徳島県木造住宅耐震診断・耐震改修マニュアル 正誤表兼補足説明

ページ・行	誤	正	
	補足説明		
P1・表中の年月	同15年7月	同16年7月	
	この項、同16年4月の「旧診断マニュアル」の施行欄の下へ。		
P6・下から2行目	この場合、後の改修工事におけるアドバイザー業務は担えなくなる。	耐震改修の設計をした場合、後の改修工事におけるアドバイザー業務は担えなくなる。	
P31・14行目	「総合判定計算書」	「耐震診断報告書」	
P33・5行目に追加挿入	(「・現地調査結果から、短辺幅を入力する。」の次の行に右記文章を挿入)	・エクセル入力において突出型、雁行型平面の場合は「床面積／長辺幅」を短辺幅として入力する。	6/25 追加
P40・床面積等の表中、2階及び1階の「短辺幅」「短辺割増」	2階短辺幅： <u>3.00</u> 1階短辺幅： <u>6.00</u> 1階短辺割増： <u>1.00</u>	2階短辺幅： <u>2.93</u> 1階短辺幅： <u>4.98</u> 1階短辺割増： <u>1.15</u>	6/25 追加
	1階短辺幅の計算： $1階床面積 / 長辺幅 = 43.73 / 8.775 = 4.98$		
P51・「7.劣化度による低減係数」の表中、「露出した躯体」欄の劣化点数	(空欄)	<u>2</u>	
P51・「7.劣化度による低減係数」の表中、「合計」欄の劣化点数	<u>8</u>	<u>10</u>	
P86・5行目	ひび割れのある鉄筋コンクリート基礎およびひび割れのある無筋コンクリート基礎は、 <u>原則としてひび割れ補修を行うものとする。</u>	ひび割れのある無筋コンクリート基礎は、 <u>必ずひび割れ補修を行うものとする。</u>	
P86・7行目	伝統構法住宅の場合で、 <u>玉石基礎、ブロック基礎の場合は原則として、根がらみ・足固めを施工するものとするか、または鉄筋コンクリート基礎とする。</u>	玉石基礎、 <u>石積基礎、ブロック基礎の場合は、根がらみ・足固めの施工または鉄筋コンクリート基礎とするのが望ましい。</u>	
P126・登録申請書 保有資格 種別欄	1級建築施工管理技師 2級建築施工管理技師	1級建築施工管理技士 2級建築施工管理技士	
P127・登録証(裏面) 4行目	住宅耐震診改修施工者等 「診」削除。	住宅耐震改修施工者等	

ページ・行	誤	正
	補足説明	
P129・登録事項変更届保有資格 種別欄	1 級建築施工管理技師 2 級建築施工管理技師	1 級建築施工管理技士 2 級建築施工管理技士
	変更前、変更後欄の各 2ヶ所、計 4ヶ所。	
P166・「改修計画書作成者（設計者）②」欄	（右記事項を書き加える。）	耐震診断員登録番号： 施工者等登録番号：
	改修計画書作成者と施工者が異なる場合は、改修計画書作成者は、耐震診断員登録番号あるいは施工者等登録番号のいずれかが必要。	
P166・「耐震改修計画の内容概要⑥、基礎の現況⑦」欄	a. 玉石・石積 b. ひび割れのある無筋コンクリート基礎 c. その他	a. 玉石・石積など b. ひび割れのある無筋コンクリート基礎 c. その他（健全な鉄筋及び無筋コンクリート基礎など）
P166・基礎に関する措置」欄	基礎が b. である場合は改善要	基礎が「b」の場合は改善義務あり
P167・下から 2 行目	「特殊パターン」としたで、	「特殊パターン」としたことで、
P168・「改修計画書作成者（設計者）②」欄	（右記事項を書き加える。）	耐震診断員登録番号： 施工者等登録番号：
	P166と同じ。	
P168・「耐震改修計画の内容概要⑥、基礎の現況⑦」欄	a. 玉石・石積 b. ひび割れの在る無筋コンクリート基礎 c. その他	a. 玉石・石積など b. ひび割れのある無筋コンクリート基礎 c. その他（健全な鉄筋及び無筋コンクリート基礎など）
P168・基礎に関する措置」欄	基礎が b. である場合は改善要	基礎が「b」の場合は改善義務あり
P169・下から 6 行目	（4. 「診断時」の各欄には、申込者の住宅に関する「木造住宅耐震診断報告書」から転記すること。の次に右記事項を加える。）	なお、G（地震動レベルによる調整係数は立地場所により一定値（旧美馬郡・旧三好郡は1.11、その他の地域は1.00）となる。
P169・下から 2 行目	「特殊パターン」としたで、	「特殊パターン」としたことで、
P170・「改修計画書作成者（設計者）②」欄	（右記事項を書き加える。）	耐震診断員登録番号： 施工者等登録番号：
	P166と同じ。	
P171・下から 4 行目	美馬郡・三好郡は1.11、	旧美馬郡・旧三好郡は1.11、
P173・2 行目		殿
	（宛先欄なし）	（宛先欄を設ける）
	「改修計画書に対する確認書」に「改修計画書チェックリスト」を加える。[別紙 1]	

[別紙 1]

改修計画書に対する確認書

殿

平成 年 月 日

木造住宅耐震改修アドバイザー 氏名 印  
 徳島県木造住宅耐震化促進技術委員会 委員長 印

下記建物の改修計画書については、改修計画書チェックリストに示すとおり適切であることを確認しました。

受付番号		申請者氏名	
------	--	-------	--

(注) 技術委員会の承認が必要でないものについては、耐震改修アドバイザーの印  
 技術委員会の承認が必要なものについては、加えて耐震化促進技術委員長の印

改修計画書チェックリスト		
確認項目	確認結果・手直し指摘事項	手直し結果
確認日	年 月 日	年 月 日
改修計画書	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 次の手直しが必要	
図面	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 次の手直しが必要	
見積書	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 次の手直しが必要	
その他	<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 次の手直しが必要	